

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
概要	<p>高度経済成長に伴い、昭和40年代に多くの公共施設を整備してきましたが、現在では老朽化が進み、また、人口やその構成が変化していることから、公共施設のあり方について、見直す必要があります。</p> <p>そこで、公共施設の総合的なマネジメントにより、施設の適正な配置と維持管理を推進するとともに、戦略的な有効利用を図ります。</p> <p>また、コンパクトな町域に市街地を形成している町の特徴を活かしたまちづくりを進めるため、計画的な土地利用の誘導を図り、誰もが移動手段を確保できるような、交通網の形成を図ります。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	1	A
(2) 交流ゾーンの検討	1	A
(3) 道路の整備と管理	1	A
(4) 地域交通の確保	1	C
(5) 公園・広場の充実と適切な管理運営	1	B
(6) 安全で効率的な情報システム運営	1	A
(7) 公共施設の適正な維持管理・再編	2	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の策定方針を策定したが、財源の確保や民間との連携の可能性などの課題を含め、実施計画の策定を進める必要がある。 ・また、取り組みについては、広く町民に周知し、知っていただく必要がある。 	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	A
	説明	公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定方針を策定し、次年度に策定する実施計画により計画的に事業を推進していく。また、二宮町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設だけでなくインフラについても計画的に事業を推進していく。なお、東大果樹園跡地は、シンボル事業に選定し、具体的な活用方法は町民ワークショップなども活用して検討を行う。
	方向性	公共施設再配置・町有地有効活用については、策定方針に基づき、今後、10年間に実施していく具体的な内容を実施計画としてとりまとめていく。その際には、様々な角度からの視点で検討を行う必要があるため、町民ワークショップや町民意見募集などを実施していく。

◎最終評価者[庁内評価委員会]

A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	A
意見等	<p>交通環境と防災対策の向上の実現のために、公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。</p> <p>今後さらに推進するために、単なる施設数や面積の削減ではなく、町民が安全で安心して利用できる施設やサービスの提供という観点から、町民参画や積極的な情報共有により町民の理解や協力を得ながら、将来における施設の適正配置や維持・管理、町民サービスのあり方等を踏まえたまちづくりの実現に向け、検討を行う。</p>